

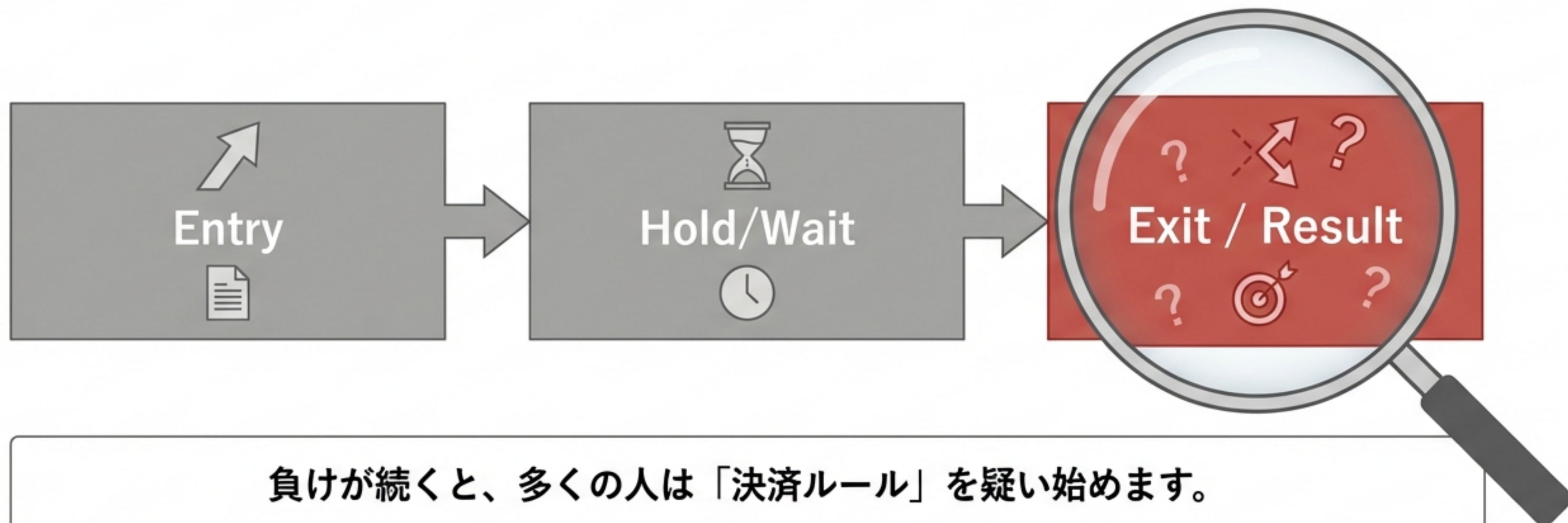
勉強しているのに、なぜ資産が増えないのか？

- 知識量とトレード成績が比例しない「停滞期」の正体 ●



- 「直近の負け」や「結果」に意識が奪われていませんか？
- 多くのトレーダーがこの壁に直面し、間違った「修正」を行ってしまいます。

停滞する人が陥る「ゴールの誤診」



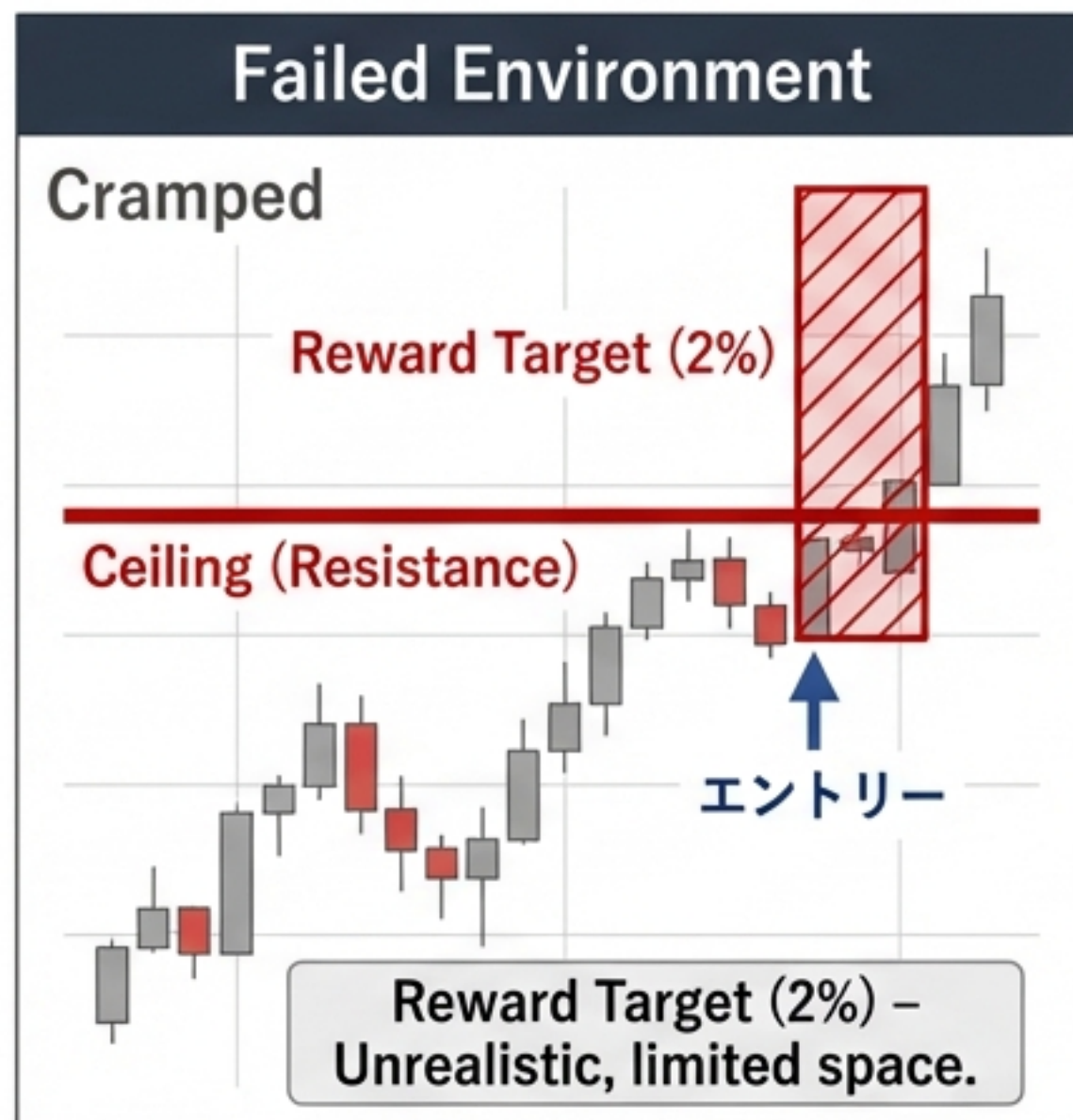
負けが続くと、多く的人是「決済ルール」を疑い始めます。

「利確を早めるべき？」 「損切りを広げるべき？」

しかし、RR1:2（リスク1：リワード2）を前提とするなら、原因はそこではありません。

視点と順序の修正が必要です。

RR1:2は「魔法の杖」ではない



RR1:2が成立するかどうかは、
「どこでエントリーしたか」
でほぼ決まります。

トレンドの終盤や、すでに
伸びきった場所でエント
リーしていませんか？

結論: RR1:2というルールが悪いのではなく、
RR1:2が成立しない環境で入っていることが問題です。

「確認してから入る」が招く高値掴みの罠



- ✓ 「上昇トレンドを確認してから買い」という教えを鵜呑みにすると、エントリーが遅れます。
- ✓ その結果、利確が入りやすい「天井圏」でポジションを持つことになります。
- ↳ 結果: リスク1%の逆行は起きるが、リワード2%の伸びは期待できない。

エントリーの条件=「2%伸びる余白」があるか

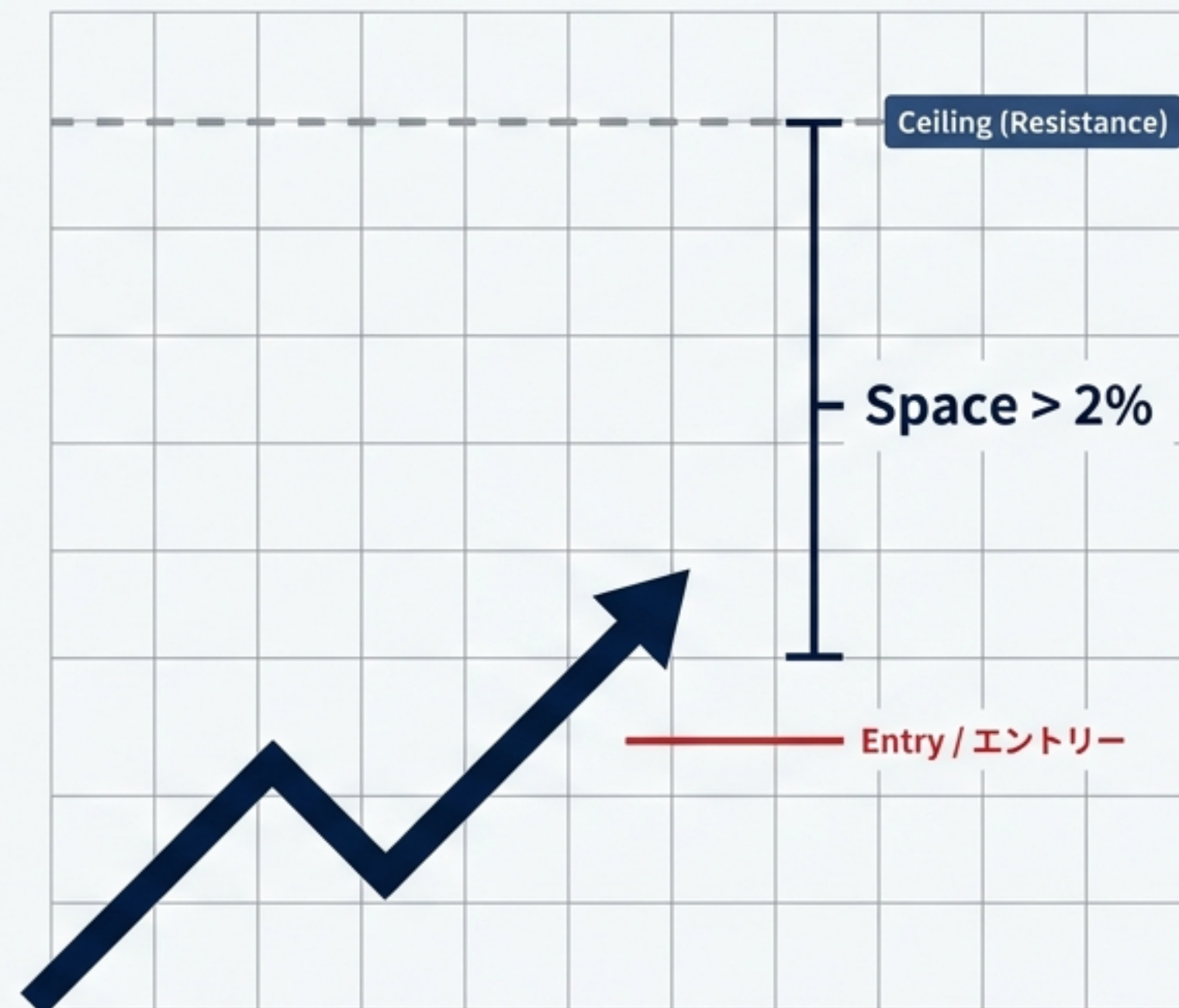
安定して勝つトレーダーは、シグナルだけでなく
「余地（スペース）」を見ています。

そこは自然に2%以上伸びる場所ですか？

高値掴みを避けるとは、「RR1:2が成立する場所を選別する作業」のことです。

Entry Checklist

- ☐ Signal (Secondary)
- ☒ **Space / 余白** (Primary)



学校教育の「勝率信仰」を捨てる



- 「努力すれば勝率は70%…80%…と上がる」と思っていないですか？
- 現実: RR1:2において、勝率55~60%あればトレードは完成形です。
- 勝率50%でも、期待値はプラスに推移します。

「勝率5割」で資産が増える数学

試行回数：10回

勝ち：5回 $\times$ 2% = +10%

負け：5回 $\times$ -1% = -5%

トータル： +5%

完璧に予想する必要はありません。1回の負けに過剰反応せず、トータルの期待値を信じてください。

「ロットが小さすぎる」ことも停滞の原因



- 利益 = 期待値 × ロット。

ロットが小さすぎると手応えが弱く、物足りなさから優位性のない場面に手を出してしまいます。

- 対策：RR1:2が成立する場面を厳選し、そこで固定リスク（例：1%）をしっかりと張ること。

「毎月同じ金額」を稼ごうとしてはいけない



相場には「稼ぎやすい月」と「方向感のない月」があります。

「先月と同じだけ稼ぎたい」という焦りが、無理なエントリーを誘発します。

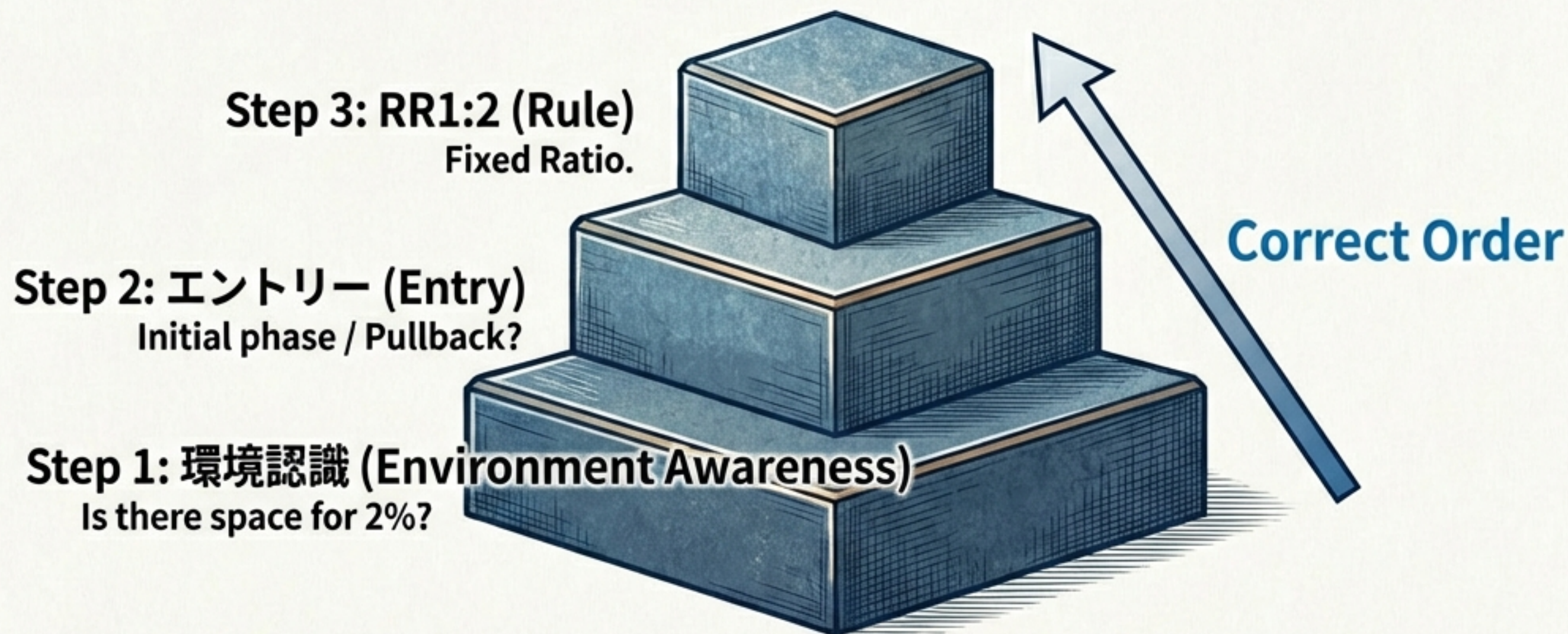
収益額は相場が決めます。あなたがコントロールできるのは「RR1:2を守ること」だけです。

孤独なトレードは 「主観」の罠にハマる



- 誰にも見られていないと、緊張感が薄れ、ルールを逸脱しやすくなります。
- 必要なのは仲間ではなく、「客観的な視点が入る仕組み」です。
- Action: トレード日記をつけて、「なぜここに入った？」と自分でツッコミを入れる習慣を持ちましょう。

停滞を抜ける「正しい改善順序」



多くの人はStep 3（数値）から直そうとします。しかし、RR1:2は調整するのではなく、固定したまま環境（Step 1）を合わせるものです。

停滞は「次に伸びるための調整期間」

- 焦らなくて大丈夫です。今日話した「高値掴み」と「余白」を一つずつ見直してみてください。
- この順序を守れるようになれば、あなたのトレードは劇的に安定します。
- 一緒に成長していきましょう！

